

A. 海外留学プログラムの主旨と参加の心構え

海外留学では、語学力向上はもちろん、そこで得られた様々な経験、逆境への対応、問題解決を通して、「コミュニケーション能力」「積極性」「タフさ」「自己管理能力」「自信」など、総じて「人間力」を身に付ける事が可能です。特に感性の豊かな年代で海外留学の体験をすることで、「国際感覚」と「普段の生活のありがたみ」を学ぶことができ、過年度参加者の多くが意識改革や学習への意欲・スキル向上により、進路や社会進出への成果につなげています。

立命館大学では、「世界で通用する国際的な人材の育成」をめざして、本学の単位を授与し、留学支援を目的とした各種奨学金を利用できる、正課の留学プログラムを提供しています。

本要項で募集をしているプログラム「短期留学」は夏休み・春休みの1週~6週間程度での留学という点が特徴で、学習や課外活動で忙しく長期の留学が難しい方でも参加できます。また、「1セメスター留学」は、渡航期間が4~6か月間と長くなり、一定レベルの語学要件は必要になりますが、短期留学よりじっくりと現地で学び、生活体験を得ることが出来ます。

その他、学外で(旅行社など営利企業で販売)提供される留学プログラムとは、異なる以下の特徴があります。

● 奨学金 ： 本学から、原則参加者全員が利用でき、返済不要の奨学金を準備しています。
● 単位授与・学籍 ： 留学プログラムの履修により、内容に応じた単位の授与があります。また 1セメスター以上の開講期間にまたがるプログラムに参加する場合、学籍は「留学」となり、制度上、標準修業年限内での卒業が可能です。
● 応募資格 ： 立命館大学の正規生であることその他、プログラムにより学部・学科や回生など応募資格が定められています。「B. 応募要件の確認一覧」チェックリストにて、応募要件を確認してください。
● 手続きサポート ： 立命館大学学生のグループとして協定校のプログラムに参加し、航空券は本学で手配します。manaba+Rなどを通して必要な情報をタイムリーに発信し、就学や渡航に関しての手続きは、ガイダンスなどを通してサポートする為、海外留学、海外渡航が初めての方も安心して参加いただけます。
● より参加しやすい費用の追及 ： コストのかかる仲介組織を介さず、直接 協定校運営プログラムを手配しており、航空便は複数旅行社からの提案を比較して手配することで、皆さんの参加しやすさを追求しています。
● 危機管理 ： 万が一、現地プログラム実施地域で大きな事件や災害などの有事が発生した際、大学として参加学生の安否確認や保護者対応を行い、参加者個別のトラブルに 24 時間対応する相談窓口システムを構築しています。また参加条件として、大学で包括契約をしている海外旅行保険の加入を義務付けています。
● 催行判断 ： 応募者数が各プログラムの最少催行人員に満たない場合や、協定校側の諸事情による理由の他、外務省の危険情報、感染症危険情報をもとに、大学として催行中止の判断をする場合があります。
● ガイダンス・渡航の為の諸手続き ： 参加にあたり本学正課のプログラムとして、事前(事後)に設けられるガイダンスや事前・事後の関連授業へ必ず出席、及び、渡航に必要な手続きを期限までに完了することを参加条件としています。
● 定められたルールの厳守 ： 出発前後・渡航中において、本学の定めたルールを順守する必要があります。

※ 参加学生は、旅行社等のあっせんする企画の参加者ではありません。

立命館大学から派遣される正課の留学生として、有意義な留学にすべく自ら努力することが求められます。

B. 応募要件の確認一覧：応募・合格後の自己都合による参加辞退は認められません!!

合格決定後、一次納付金納入手続きの為に一定の期間を設け、一次納付金納付期限 = 「辞退期限」としています。原則、辞退期限までは取消料不要としていますが、実際には、辞退者が発生した場合、以下のような弊害があります。

- ① 「先着」要件は、募集定員を超えた時点で受付停止する為、人気のプログラムは応募できない学生が発生する。辞退者が発生すると定員未満での催行になり、本来応募・参加できた他の学生の機会を失わせる事になる。
- ② 一旦精査した参加費用を合格者ガイダンスで案内するが、辞退者が出る事で価格が上昇してしまう。
- ③ 団体派遣として準備しているため、辞退者が出る事で合格発表後に催行中止になる場合がある。

以上の理由により、合格発表後の自己都合による辞退は認められません。正当な理由なく辞退された場合は、それ以降、国際教育センター取扱いの留学プログラム応募資格を失うなど、ペナルティーを科せられる場合があります。また、期限後の辞退は、参加取消・中止を命じられた場合を含め、理由に関わらず必要な取消料実費を負担いただきます。

応募の際に誤認が無いよう、以下のチェックリストで参加条件や自身の参加可否を明確にしてから応募してください。

応募要件リスト チェック項目	参照項番
<input type="checkbox"/> 1. 立命館大学の正規生であり、募集期間のセメスターは「休学中」にあたらぬ。	—
<input type="checkbox"/> 2. 留学期間中、本学の学籍が除籍(学費未納除籍等)や、卒業になることはない。	—
<input type="checkbox"/> 3. 立命館大学海外留学プログラムの主旨と、派遣留学生の「心構え」について理解した。	A
<input type="checkbox"/> 4. 応募プログラムと同時参加が認められていない、他の留学プログラムへの参加予定はない。	C
<input type="checkbox"/> 5. 応募プログラムと同期間に、個人的に参加が必要な行事・課外活動・就職活動などの予定はない。	—
<input type="checkbox"/> 6. 応募するプログラムについては、必要な情報を確認した上で応募する。 ※ プログラムの情報は、立命館海外留学ホームページからも参照してください。	D・E・F プログラム編
<input type="checkbox"/> 7. プログラム参加による、自身の履修への影響が問題ないことを確認した。	G
<input type="checkbox"/> 8. 応募対象の学部学科・回生・入学年度一覧表にて、自身の応募資格を確認した。	H
<input type="checkbox"/> 9. プログラム応募・参加に関して必要な諸手続きについて確認し、定められた期限までに手続きを完了できる。(事情があり、期限に遅れる場合はその旨 留学サポートデスクへ事前連絡する)	J プログラム編
<input type="checkbox"/> 10. 自身の国籍や第一言語を確認し、日本国籍以外の場合は、その留意事項を確認した。	K
<input type="checkbox"/> 11. 合格後、ガイダンス等へ参加必須であることと、それらの日程スケジュールを確認した。	L
<input type="checkbox"/> 12. 健康管理に関する留意事項と、自身のプログラム応募に問題ないことを確認した。	M
<input type="checkbox"/> 13. 危機管理、及び立命館大学の催行判断についての留意事項を確認した。	N
<input type="checkbox"/> 14. プログラム参加に必要な費用を確認し、父母等と費用負担者と資金計画についてよく話し合い、提示費用変動の可能性も含め、十分な理解を得た上で所定の期限までに費用を納入できる。	O・P プログラム編
<input type="checkbox"/> 15. 応募検討のプログラムの滞在形態と、その特徴を確認した。 ホームステイの場合、「Q.ホームステイに関する留意事項」を確認し、納得した上で応募する。	E・F・Q プログラム編
<input type="checkbox"/> 16. 「海外留学プログラムに関する承諾書」の記載事項を父母等も含め確認、内容を十分理解・同意した上で応募し、合格後は署名・提出する。(署名は「本人」と「父母等」共に必要)	R
<input type="checkbox"/> 17. 上記、チェック項目をすべて確認し、応募申し込み後は 辞退期限までの期間を含めて、自己都合による辞退をしないことを 本人・父母等共に了承の上、プログラムに申し込みます。	B

※ 「参照項番」記載の本要項の項番、または「応募要項(プログラム編)」から対象プログラムの情報を確認してください。

C. 本要項 海外留学プログラムの応募方法

応募は、定められた期間中に「オンライン応募フォーム」にて受け付けます。

応募フォームの URL・QR コードは、別紙、「募集要項(プログラム編)」に掲載しています。

※ 応募プログラムで URL が異なる為、応募プログラムが掲載された募集要項(プログラム編)にて確認してください。

C-1 応募期間に関する留意事項

- 「先着」要件は原則先着順で参加となる為、応募者数が募集定員になった時点で受付が締め切られます。
- ※ 応募者が応募期間中に辞退、又は参加条件に不適と判明した場合、一旦締め切られた受付が再開する場合があります。
- ※ 「先着」要件に限り、応募数が定員に満たないプログラムは、状況に応じて2次募集をする場合があります。
- 「選考」要件は応募者数に関わらず、応募期間中に受付が締め切られる事はありません。
- 応募期間(締切時間)が終了次第、応募フォームへのアクセスは締め切られます。最終日はアクセスの集中で繋がりにくくなる可能性がありますので、時間に余裕をもって準備、応募をして下さい。
- 応募者側のオンライン環境不具合等、いかなる理由があっても、応募期間以外での応募は一切受け付けしません。また期間中、応募は一回限りとなり応募後の修正は出来ません。必要事項に不備が無いか事前に確認してください。

C-2 複数プログラムの参加、プログラムの併願に関して

本要項掲載のプログラム内で、たとえ留学期間が重なっていても、複数プログラムの参加は出来ません。

ただし、「選考」要件のプログラムに限り、以下カテゴリー内で第1希望～第3希望の併願応募する事は可能です。

(「先着」要件のプログラムは併願応募出来ません。)

- 募集要項(プログラム編③)内、「現地で学ぶ初修語セミナー」及び「海外スタディ」での併願
- 募集要項(プログラム編④)内、「I セメスター留学プログラム」での併願
- ※ 留学期間の重ならない、「学部実施の留学プログラム」との併願、又は複数参加を希望する場合は、事前に留学プログラムを実施する学部事務室へ併願、複数参加の可否について確認してください。

C-3 過年度 短期・I セメスタープログラムの参加経験がある学生の留意事項

- 過年度参加したものと、「同プログラム・同コース(協定校)」の留学プログラムは応募できません。
- ※ Global Fieldwork Project は、過年度別コースの参加であっても同プログラム(GFP)の応募は出来ません。
- 【例】 過年度「異文化理解セミナーボストン大学」参加学生は、今回同じ「ボストン大学」以外のコース応募は可。
過年度「GFP ハノイ貿易大学」参加学生は、「GFP チェンマイ大学」など、他 GFP への応募は不可。
GFP 以外の「異文化理解セミナー」「I セメスター留学」などへの応募は可。

C-4 応募～合格発表までのスケジュール

日付・時間	イベント名	場所・形式	備考
9/29(金) ー	募集要項 発行	ホームページ内	※manaba+Rにて発行案内があります。
10/10(火) 12:30 -10/16(月) 17:00	プログラム応募期間	募集要項に記載 リンクURL	応募方法の詳細は 募集要項(プログラム編)で確認
10/18(水) ー	2次 募集要項 発行	ホームページ内	「先着」要件の追加募集コースのみ ※manaba+Rにて発行案内があります。
10/19(木) 12:30 -10/25(水) 17:00	2次 募集応募期間	※2次募集要項 記載リンクURL	応募方法の詳細は 2次募集の 募集要項(プログラム編)で確認
11/1(水) 13:00	選考結果発表 (合格発表)	manaba+R (個人通知)	manaba+Rにて 合格者の学生証番号を掲載
11/11(土) 終日	合格者ガイダンス	manaba+R	選考結果発表時、詳細を案内します。

- お問い合わせ先: 「留学サポートデスク」(BKC) TEL:077-561-4881 (平日 9:00~17:00)

D. 海外留学プログラムの情報収集

D-1 「秋の留学フェア」スケジュール(短期・1 セメスタープログラム応募期間のプロモーションイベント)

衣笠 C・OIC の学生からのご相談・問い合わせは、日程が合えば以下出張相談会の日程をご利用ください。

日付	時間	イベント名	場所・形式	内容
10/3(火)	10:00 -17:00	留学サポートデスク 出張相談会@衣笠	衣笠C 明学館1階 留学サポートデスク	異文化理解・海外スタディ・GFPの担当が駐在 短期・1セメスター全プログラムの相談可です
10/4(水)	9:00 -10:00	<協定校協力企画①> イリノイカレッジ(アメリカ)	ZOOM https://us02web.zoom.us/j/84207312889?pwd=cDFEeHRwVDFIV25SUVRQdWU4RVkydz09	イリノイカレッジ 現地担当者によるライブセッション
10/4(水)	10:00 -16:00	留学サポートデスク 出張相談会@OIC	OIC A棟1階 BBPラウンジ	短期(初修語)・1セメスター・GFPの担当が駐在 短期・1セメスター全プログラムの相談可です
10/5(木)	17:00 -18:00	<協定校協力企画②> アルカラ大学(スペイン)	ZOOM https://us02web.zoom.us/j/87995661032?pwd=NXFUL2taOENiTERITEhDMzBsVFludz09	アルカラ大学 現地担当者によるライブセッション
10/10(火)	17:00 -18:00	<協定校協力企画③> ウォーリック大学(イギリス)	ZOOM https://us02web.zoom.us/j/88934006030?pwd=bTBibVN5K3BEUTZEWUUVTWFIWlp6Zz09	ウォーリック大学 現地担当者によるライブセッション
10/11(水)	10:00 -17:00	留学サポートデスク 出張相談会@衣笠	衣笠C 明学館1階 留学サポートデスク	短期(初修語)・1セメスター・GFPの担当が駐在 短期・1セメスター全プログラムの相談可です
10/12(木)	10:00 -16:00	留学サポートデスク 出張相談会@OIC	OIC A棟1階 BBPラウンジ	異文化理解・海外スタディ・GFPの担当が駐在 短期・1セメスター全プログラムの相談可です

D-2 「立命館大学 留学プログラム」ホームページ内の情報概要

海外留学プログラムの応募検討にあたり、HP から様々な情報を入手できます。

また、今回の募集に合わせて、各プログラムの紹介動画等のコンテンツをアップしていますので、参考にしてください。

※ 過年度参加者の「報告書」については、「N-3 新型コロナウイルス禍による影響」を踏まえて参照してください。

◆ 立命館大学 海外留学プログラム HP: <https://www.ritsumei.ac.jp/studyabroad/>

※ ホームページは検索サイトから「立命館大学 海外留学プログラム」で検索してください。

● トップページ	News【9/20 からスタート!】海外留学応援企画「秋の留学フェア 2023」開催のご案内 ⇒ フェアスケジュール一覧にて、上記フェアイベントの参加方法と、一番下段から、 <u>応募検討用にアップされた留学情報関連の動画コンテンツがご覧いただけます。</u>
● 留学計画	・4年間の学生生活と留学プラン ・応募～留学までのスケジュール ・立命館留学ナビゲーター など
● 留学プログラム	・全学募集プログラムの紹介 ※各プログラムの情報ページ最下段から過年度参加者の「報告書」を見ることができます。
● 応募・出発準備	・海外留学に向けての準備 ・語学の学習 ・各種証明書 など
● 奨学金	・奨学金に関する情報
● 情報・質問・相談	・海外留学の手引き ・留学 FAQ ・海外留学相談 ・教員紹介 ・情報収集 ・国際教育センターについて(開室時間・アクセス) など
● 留学体験記	・留学体験記 ・キャッチコピーコンテスト ・写真コンテスト など

● お問い合わせ先: 「留学サポートデスク」(BKC) TEL:077-561-4881 (平日 9:00~17:00)

E. 短期・1セメスター留学 プログラム一覧

プログラム・コース名		派遣国	募集定員	最少人員	滞在形態	ビザ(日本)
派遣期間(日本発着)		都市	募集要件	形態	パスポート有効(日本籍)	
Global Fieldwork Project(春)		研修言語				
1	ホーチミン市人文社会科学大学 (英語) 2024/03/03(日)～ 2024/03/10(日) 8日間	ベトナム ホーチミン	40名 先着	10名 カスタム	ホテル	不要 入国時+6ヵ月以上
2	ハノイ貿易大学 (英語) 2024/03/03(日)～ 2024/03/10(日) 8日間	ベトナム ハノイ	40名 先着	10名 カスタム	ホテル	不要 入国時+6ヵ月以上
3	マレーシア科学大学 (英語) 2024/02/25(日)～ 2024/03/03(日) 8日間	マレーシア ペナン	40名 先着	10名 カスタム	ホテル	不要 入国時+6ヵ月以上
4	パンニヤサ大学 (英語) 2024/02/25(日)～ 2024/03/03(日) 8日間	カンボジア プノンペン	30名 先着	10名 カスタム	ホテル	要 入国時+6ヵ月以上
5	チュロンコン大学 (英語) 2024/02/25(日)～ 2024/03/03(日) 8日間	タイ王国 バンコク	30名 先着	10名 カスタム	ホテル	不要 入国時+6ヵ月以上
6	チェンマイ大学 (英語) 2024/02/04(日)～ 2024/02/11(日) 8日間	タイ王国 チェンマイ	30名 先着	10名 カスタム	ホテル	不要 入国時+6ヵ月以上
7	ガジマダ大学 (英語) 2024/02/10(土)～ 2024/02/18(日) 9日間	インドネシア ジョグジャカルタ	30名 先着	10名 カスタム	ホテル	要 入国時+6ヵ月以上
8	淡江大学 (英語) 2024/02/25(日)～ 2024/03/03(日) 8日間	台湾 台北	40名 先着	10名 カスタム	ホテル	不要 出国日まで
異文化理解セミナー(春)		研修言語				
9	イリノイカレッジ (英語) 2024/02/03(土)～ 2024/03/03(日) 30日間	アメリカ ジャクソンビル	14名 先着	10名 カスタム	ホームステイ	電子 出国日まで
10	ボストン大学 (英語) 2024/02/04(日)～ 2024/03/03(日) 29日間	アメリカ ボストン	30名 先着	12名 オープン	ホームステイ	電子 出国日まで
11	トロント大学 (英語) 2024/02/04(日)～ 2024/03/03(日) 29日間	カナダ トロント	40名 先着	10名 オープン	ホームステイ	電子 出国日+1日以上
12	ウォーリック大学 (英語) 2024/02/03(土)～ 2024/03/04(月) 31日間	イギリス コベントリー	30名 先着	20名 カスタム	ホームステイ	不要 出国日まで
現地で学ぶ 初修語セミナー(春)		研修言語				
13	北京大学 (中国語) 2024/02/25(日)～ 2024/03/23(土) 28日間	中国 北京	24名 選考	10名 オープン	学生寮	要 入国時+6ヵ月以上
14	高麗大学 (朝鮮語) 2024/02/04(日)～ 2024/03/02(土) 28日間	韓国 ソウル	30名 選考	20名 カスタム	ホテル	不要 入国時+3ヵ月以上
15	トゥールーズ大学 ジャン・ジョレス校 (フランス語) 2024/02/10(土)～ 2024/03/04(月) 24日間	フランス トゥールーズ	24名 選考	12名 カスタム	ホームステイ	不要* シェンゲン出国+3ヶ月
16	ライプツィヒ大学 (ドイツ語) 2024/02/11(日)～ 2024/03/03(日) 22日間	ドイツ ライプツィヒ	24名 選考	14名 オープン	フラットシェア	不要* シェンゲン出国+3ヶ月
17	アルカラ大学 (スペイン語) 2024/02/03(土)～ 2024/03/03(日) 30日間	スペイン アルカラ デ エナレス	20名 選考	12名 カスタム	学生寮	不要* シェンゲン出国+3ヶ月
海外スタディ(春)		研修言語: (英語)				
18	ラトガーズ大学 「多様な視点から見るアジア太平洋の国際関係」 2024/02/06(火)～ 2024/03/06(水) 30日間	アメリカ ニューブランズウィック	15名 選考	10名 カスタム	学生寮	電子 出国日まで
1セメスター留学プログラム		研修言語: (英語)				
19	立命館・ワシントン大学 「持続可能な社会とイノベーション」 2024/03/24(日)～ 2024/07/14(日) 113日間	アメリカ シアトル	25名 選考(語)	18名 カスタム	ホームステイ	要 出国日まで
20	立命館・UCデービス校 「アメリカの言語・文化・社会」 2024/03/27(水)～ 2024/09/08(日) 166日間	アメリカ デービス	40名 選考(語)	10名 オープン	ホームステイ	要 出国日まで

F. 「プログラム一覧」記載項目の補足説明

応募プログラムは、「募集要項(プログラム編)」及び「立命館大学 海外留学プログラム ホームページ」より、参加費用、訪問都市、参加条件、特徴やテーマなど、情報収集の上 自身の目的にあったものを選択してください。尚、日程を含む記載の情報は、本要項発行時点の情報に基づいて記載しており、今後変更が生じる可能性があります。

F-1 「募集定員」・「募集要件」・「最少人員」

「募集定員」、「最少人員」は、関係機関の手配状況から設定、応募者数が最少未満の場合、原則催行中止となります。「先着」要件は原則、参加資格に問題が無ければ応募先着順に応募定員までプログラムへの参加が決まります。「選考」要件は、応募時に応募書類を提出し、本学担当教員による審査の上合否を決定します。また、「選考(語)」と記載のコースは、語学要件が必要となる為、応募時、語学力証明の為「語学スコアシート」などが必要になります。応募書類の詳細は、「募集要項(プログラム編)」でご確認ください。

F-2 「プログラム形態」

- **カスタム**: 立命館大学独自に協定校から提供されるプログラムで、授業は基本的に立命館大学生のみとなります。参加人数によって、参加者が一つのクラスで授業を受ける場合があります。
- ※ 一部プログラムは一定期間、授業クラスや課外活動で国内外の他大学学生と合同になる場合もあります。
- **オープン**: 協定校が海外留学生に向け広く募集するプログラムに、立命館大学として一部、又は全体を通して参加します。授業クラスは協定校の指定条件により、原則、日本国内外からの留学生も含めてミックスされますが、催行時期に受け入れている国別留学生数の状況や、語学レベルによってはほぼ日本人のみのクラスに、また、一部協定校の方針によって、立命館大学生のみのクラスになる場合もあります。

F-3 「滞在形態」

- **ホテル**: 協定校、又は旅行社が手配のホテルへ宿泊します。原則、立命館から参加学生 2-3 名で 1 室になります。(海外のホテルでは、シングルルームの設定があまりない為、通常 1 人部屋は 2-3 名で利用する場合の 2 倍近くになり、それだけ費用負担が大きくなる為、基本的に複数人で 1 室の宿泊になります。)
- **学生寮**: ホテルやホームステイより滞在費が抑えられます。学生寮は留学生向けの宿泊施設の場合や、一般学生寮を利用する場合と様々です。複数名で 1 室のケースが多く、他国を含め他大学学生と同室になる場合もあります。
- **ホームステイ**: 現地の一般家庭に入って生活する為、その国の文化や生活習慣を実体験することができます。ホストファミリーとのコミュニケーションが必要になる為、語学に慣れる良い機会になります。ホテルや学生寮での滞在とは、根本的に違う形態のため、プログラムへ参加する場合は、ホームステイについて「Q. ホームステイに関する留意事項」を確認し、十分に理解・納得して応募・参加していただく必要があります。
- ※ ホームステイでも食事提供を無くして、単純にコストを抑えた宿泊施設として利用する場合があります。
- **フラットシェア**: ホームステイに近い形態ですが、滞在費用を抑える目的で利用します。オーナーの住居(マンション等)の 1 室を借りて滞在するケース、オーナーは居住していない部屋を複数で利用するケースなど様々です。協定校が参加者分をまとめて手配しますが、立地を含め、同じ費用でありながら参加者によって差が発生する事は否めませんので、その点を了解した上で応募いただく必要があります。
- ※ **【滞在形態共通の留意事項】** 複数名同室の場合の相手学生は事前希望できません。

F-4 「ビザの要否」・「パスポートの必要有効期限」(日本国籍)

日本国籍参加者を対象に、ビザの要・不要やパスポートの必要有効期限を一覧にしています。ビザ欄が「要」又は「電子」の場合の申請手続きについては、募集要項「プログラム編」に概要を記載しています。

- ※ ビザ欄が「電子」と記載されているプログラムは、事前にオンラインでの「電子登録認証」が必要になります。
- ※ ビザ欄に「不要*」と記載されているヨーロッパの国は、今後「電子登録認証」が必要になる可能性があります。
- ※ ビザ取得、及び電子登録認証に関しての手続き詳細は、合格後のガイダンスで改めてお知らせします。
- ※ 外国籍は国籍・渡航国によりビザ要否、手続きが異なります。「K. 外国籍学生の応募・参加について」をご確認ください。

- お問い合わせ先: 「留学サポートデスク」(BKC) TEL:077-561-4881 (平日 9:00~17:00)

G. 学籍と履修について

本要項に記載の留学プログラムは、単位授与を伴う正課のプログラムとして実施されます。

応募を検討される方は、下記「G-2 2023年度 海外留学プログラム単位授与科目一覧」にてプログラムに参加した場合の成績評価・単位授与される科目名・単位数・授与分野を確認し、資格取得や履修、卒業時期に影響が無いか自身の履修計画を点検してください。

- ※ 1回生は、基礎演習や必修科目の履修が留学により影響を受ける可能性がありますので、必ず履修計画について学部事務室へ相談・確認してください。
- ※ 1セメスタープログラムについては、留学が本学開講期間にまたがることで、学籍を「留学」へ変更することが必要な為、独自の参加条件や、留意事項があります。「プログラム編」に記載しているので、応募にあたり確認してください。

G-1 学籍・開講科目と単位授与

短期プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ● 学籍に変更はありません ● 2023年度冬集中科目(2023年度秋学期単位授与・受講登録上限外)として開講
1セメスタープログラム	<ul style="list-style-type: none"> ● 学籍は「在学」から「留学」に変更、留学期間は卒業に必要な修業年限に算入されます。 ※ 実際の留学に関わらず、学籍上の「留学」期間は、本学学期の期間になります。(4/1~9/25) ● 2024年度春学期開講科目(2024年度春学期単位授与・受講登録上限外)として開講



※ 単位授与されるには、単位授与期間に学籍状態が「在学」又は「留学」中である必要があります。

【例】冬期集中科目として開講の場合、同年度秋学期に学籍状態が「休学」となった場合、単位は授与されません。

G-2 2023年度 海外留学プログラム単位授与科目一覧(「春期 短期留学プログラム」)

入学年度・学部・学科により、一覧が ①旧カリキュラム ②新カリキュラム に分かれます。

自身の対象になるカリキュラムの URL、又は QR コードから一覧を確認してください。

2019年度以前の入学学生(全学部)	←左記記載の入学年度・学部 以外の学生
2020年度入学の「総合心理学部生」	
2021年度以前に入学の 「政策科学部生」 「経営学部生」 「理工学部 環境都市工学科生」	
<p>①【旧カリキュラム】 ←リンクはこちら</p> <p>※直接入力用 URL アドレス(改行せず入力): https://secure.ritsumei.ac.jp/students/studyabroad/db/23summer/zyuyokamoku_old.pdf</p> 	<p>②【新カリキュラム】 ←リンクはこちら</p> <p>※直接入力用 URL アドレス(改行せず入力): https://secure.ritsumei.ac.jp/students/studyabroad/db/23summer/zyuyokamoku_new.pdf</p> 

※ 万一、自身の入学年度の単位授与科目一覧が見つからない場合は、国際教育センターへご連絡ください。

※ グローバル教養学部生は、カリキュラムとの兼ね合いから、本要項の留学プログラムに参加できません。

※ 「春期 1セメスター留学プログラム」は、年度が異なる為、プログラム編にて単位授与科目一覧 URL を掲載します。

H. 応募対象の学部学科・回生・入学年度一覧表

応募の検討にあたり下表にて、所属学部・学科(横軸)と、各プログラム(縦軸)の交差する箇所に記載された、「応募可能な回生」を確認してください。交差する箇所に記載されていない回生や、「対象外」となっている場合は対象プログラムに応募できません。

● 応募可能回生確認表 ※ 以下、記載プログラム・コース名は省略しています。一覧の項番と照らし合わせて確認してください。

対象プログラム コース名		Global Fieldwork Project	異文化理解	初修語セミナー	海外スタディー	1セメスター	
			9.イリノイ	13.北京 14.高麗	18. ラトガーズ	19. ワシントン	20. UCデービス
所属学部・学科 (入学月)		10.ボストン	15.トゥールーズ				
		1.~8. *8コース		11.トロント	16.ライブツィヒ		
				12.ウォーリック	17.アルカラ		
		法学部		対象外	1-3回生	1-3回生	1-3回生
産業社会学部		1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生
国際関係 学部	4月入学	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生
	9月入学	1-4回生	1-4回生	1-4回生	2-4回生	1-4回生	1-3回生
文学部		1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生
映像学部		1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生
経済学部		1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生
理工学部	各学科	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生
	環境都市工学科	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-2回生	1-2回生	1-2回生
情報理工学部		1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生
生命科学部		1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生
薬学部	薬学科	1-5回生	1-5回生	1-3回生	1-5回生	1-4回生	1-5回生
	創薬科学	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生
スポーツ健康科学部		1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生
食マネジメント学部		1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生
経営学部		1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生
政策科 学部	4月入学	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生
	9月入学	1-2回生	1-4回生	1-4回生	2-4回生	1-4回生	1-4回生
総合心理学部		1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生	1-3回生
グローバル教養学部		対象外	対象外	対象外	対象外	対象外	対象外

※ グローバル教養学部生は、カリキュラムの兼ね合いから本要項掲載の留学プログラムには参加できません。

注意: 休学や、進級保留等が発生した学生については、上記の応募可能回生と取扱いが異なる場合がありますので、応募前に、所属学部事務室に相談・確認してください。(右表にて、応募可能な年度別標準回生を確認)

入学年度	応募可能な年度別標準回生	
	4月入学	9月入学
2023年度	1回生	1回生
2022年度	2回生	2回生
2021年度	3回生	3回生
2020年度	4回生	4回生

● お問い合わせ先: 「留学サポートデスク」(BKC) TEL:077-561-4881 (平日 9:00~17:00)

J. 参加に必要な手続きについて

プログラム参加 = 「海外渡航」であり、協定校就学の手続きも含め、必要な手続きをせずに参加することは出来ません。また、手続きが遅延する事で追加費用がかかったり、参加できないなどの不利益が生じたり、協定校や他の参加者など、他者へ迷惑がかかる場合もあります。(団体手続きの場合、1人の遅延で全員の手続きが遅れることがあります。) 必要な手続き概要を確認し、定められた期限までの手続き完了を了解したうえでプログラムへ応募してください。万一、諸事情により所定の手続きが期限に間に合わない場合は、必ず事前に留学サポートデスクへ連絡をお願いします。無連絡で手続きが遅延した場合、状況によってはプログラムへの参加資格取消と判断される場合があります。

J-1 一般旅券(パスポート)について

協定校の登録や航空券の手続きに必要な為、早い段階でパスポートコピーを提出いただく事になります。

現在パスポートをお持ちでない方、また有効期限が十分でない方は、申請・取得の準備、心づもりをお願いします。

※ 有効期限がプログラム終了までであってもパスポート更新手続きが必要な場合があります。(プログラム編 参照)

※ パスポートは有効期限内であっても、残存1年未満であれば更新(切替申請)が可能です。

パスポートの申請・取得は、原則、住民票のある都道府県の申請窓口で行いますが、住民票が遠方にあり、通学の為、京都・滋賀・大阪に居住している「学生」は、居住都道府県で申請・取得が可能です。ただし、その場合も必要書類として「戸籍謄本」が必要になり、遠方からの入手は時間を要する為、少なくとも事前に「戸籍謄本」を入手しておき、合格したら速やかにパスポートの申請・取得ができるように準備をしておいてください。

※ 取得には必ず窓口へ行き、申請後7~10日程度必要です。手続きに関して、各自事前にご確認ください。

※ 18歳以上が新規で取得するパスポートの有効期限は、「5年」または「10年」で選択が可能です。

J-2 その他の必要な手続き

パスポートの取得(コピー提出)以外に、プログラム参加の為に様々な諸手続きが必要になります。

参加プログラムにより手続き内容が異なりますので、募集要項(プログラム編)にて概要を確認してから応募ください。手続きの詳細や具体的な進め方は、合格者ガイダンスにてお知らせします。

- 立命館大学留学プログラムに参加のための本学内手続き(全プログラム対象)
- 協定校で就学する為の申込手続き(Global Fieldwork Project 以外は、ほぼ全協定校で必要)
- ホームステイを手配する為の申込手続き(宿泊形態がホームステイのプログラムは必要)
- ビザ(査証)手続き(1セメスター留学プログラム、他一部の短期留学プログラム)

渡航国や種別で、比較的容易に取得できるビザと、渡航国審査から取得までの時間予測が難しいビザがあり、その場合、合格発表以前にパスポート取得を済ませて、早めにビザ申請手続きをしていただく必要があります。

ビザ手続きは渡航国都合で行われ、急遽書類や所要期間が変更になることもある為、決して安易に考えないでください。

※ 万一査証が取得できず、プログラムを辞退せざるを得ない場合も、プログラム取消料、査証手続費用は自己負担です。

※ 合格発表までにパスポート取得手続きが必要なプログラムは、「募集要項(プログラム編)」で確認してください。

※ 上記、ビザとは別に「電子渡航認証」でオンラインによる簡易的な事前登録が必要な国があります。

※ ビザ申請、電子渡航認証共に、原則代行業者を通して行いますが、一部、自身でWeb申請が必要な国があります。

※ 各国とも制度上、ビザは入国許可を保証するものではなく、「最終は入国手続き係官の判断による」としています。

K. 外国籍学生の応募・参加について

外国籍学生がプログラムに参加する場合、自身の国籍と渡航国によってはビザ取得が必要になり、取得までの時間予測や、出発までの取得が難しいケースもあります。応募時、必ず自身の国籍を明確に申告してください。

状況により、出発までにビザ取得できないリスク(取消による費用負担)も踏まえて、参加の意思を再確認します。

※ 日本国籍とは別の査証取得手続き等が必要になる場合の費用は、プログラム費用とは別に自己負担となります。

※ 二重国籍を持っている学生は、応募時に申告して下さい。(参加にデメリットになるケースはほぼありません。)

応募にあたり、自身の在留資格(プログラム終了後、日本帰国時までの有効期限)や、必要な手続きを確認してください。

※ 日本に長期在住の学生でも「みなし再入国許可」の対象とならない方は、再入国許可証の取得が必要です。

(みなし再入国の対象有無に関しては、所轄の出入国在留管理局へご確認ください。)

※ 自身の第一言語が「研修言語」に設定されているプログラム・コースには応募できません。

【例】国籍は中国だが日本で育ち、第一言語が日本語の場合、研修言語が中国語に設定されているコースの参加は可能。

L. 留学前後のスケジュールについて(ガイダンス・事前事後関連授業への出席は必須です)

現時点で予定している、選考結果発表後、出発後までのスケジュール一覧です。

記載の各種ガイダンス・事前事後研修等の参加は留学プログラムの必須条件です。アルバイトやサークルなど、自己都合での欠席は認められません。スケジュールを確認して事前に予定をしておいてください。

- ※ 各ガイダンスは出席確認があります。正課の授業など、やむを得ない欠席は事前の連絡が必要です。
- ※ 一覧表網掛けの案内は、一部のプログラムに対してのみ対象となります。
- ※ 自己都合によるガイダンスの欠席や、諸手続きの大幅な遅延などにより、「参加への意識が不十分である」と、本学が判断し、参加資格を取り消す場合があります。(その場合の取消にかかる費用は本人負担です。)

● 留学前後のスケジュール(予定)

日付	時間	ガイダンス内容 ※備考(対象プログラムなど)	開催場所・方法
11/11 (土)	プログラム別 (終日)	合格者ガイダンス(プログラム別:※時間はmanaba+Rで案内) ※ 当日までに指示のあるオンデマンド動画(合格者ガイダンス共通編)視聴 ◆ビザ申請ガイダンス(一部の対象プログラムのみ)	Zoom Live参加
11/15 (水)	13:00締切	プログラム費用(申込金)1次納付金納入期限	振込納入
		プログラム辞退期限	留学SDへ連絡
11/15 (水)	18:00 ~ 19:00	◆予防接種ガイダンス(一部の対象プログラムのみ)	各キャンパス 対面
11/30 (木)	17:00締切	留学プログラム参加必要書類提出(パスポートコピー・承諾書等) ※ビザ必要な一部プログラムはパスポートコピーを合格者ガイダンスまでに準備	Web提出
12/10 (日)	終日	◆Global Fieldwork Project 事前研修	OICキャンパス
12/12 (火)	18:00 ~ 19:00	保健センターガイダンス ※ 当日までに指示のあるオンデマンド動画を視聴	Zoom Live参加
12/14 (木)	18:00 ~ 19:00	危機管理ガイダンス ※ 当日までに指示のあるオンデマンド動画を視聴	Zoom Live参加
2024年 1/14 (日)	終日	・渡航前ガイダンス(最終費用・諸注意・当日集合案内 等) ◆現地事情・ホームステイ ガイダンス(一部の対象プログラムのみ) ◆ビザ申請ガイダンス(一部の対象プログラムのみ)	OICキャンパス
1/19 (金)	13:00締切	プログラム費用2次納付金納入期限	振込納入
(2月 ~ 3月出発)		現地研修(プログラム別) ※留学期間はプログラム一覧参照	各地
後日案内		◆Global Fieldwork Project 事後研修	衣笠キャンパス
後日案内		※海外スタディー(ラトガーズ大) 事前・事後研修	後日案内

M. 健康管理に関する留意事項

M-1 自身の健康状態について

応募には、自身の健康状態が心身ともに留学プログラムへ参加可能であることが必要です。持病がある学生や、応募時点で治療中の病を持つ場合は、主治医等に相談し、許可を得たうえで応募してください。ただし、合格後の症状悪化など、本学が安全に派遣できないと判断した場合の辞退でも、取消費用が発生した場合は自己負担となります。

※ 持病による定期的な治療、及び歯科による治療費は、原則、海外旅行保険の補償は適用されません。

本学医師が健康状態を把握するため、参加者は必ず出発年度の「学内定期健康診断」(該当者は2次検査も)を受診することと、健康診断の結果を元に、指定された「健康状態に関する申告書」を提出する必要があります。当年度の健康診断を受診していない学生は、手続きに遅延が無いように、合格発表前に受診の手続きをしてください。

※ 提出された申告書の内容によっては、別途、本学医師による面談を行い、参加可否の判断をする場合があります。

M-2 ワクチン接種について

参加にあたり、協定校、及び渡航国や州などの地域で定められた予防接種が義務付けられたプログラムがあります。義務付けられた予防接種が複数の場合、本校医師の判断の下、一定期間の間隔を設けて接種を行う必要があり、指定のスケジュールに応じて、すべての接種を完了することが参加の条件となります。

該当するプログラムは、募集要項(プログラム編)に必要な予防接種を記載、予防接種ガイダンスで詳細案内があります。

※ 予防接種ガイダンスでは、既に接種済ワクチン確認の為、母子手帳の提出・確認が必要になる場合があります。

協定校などで義務付けられていない限り、新型コロナワクチンを含めた各種予防接種を参加条件とはしていませんが、渡航前・留学中にかかわらず、罹患することによる損害・不利益(参加辞退による取消料、渡航先での隔離や受診、渡航期間の延長など)についてはすべて自己責任となりますので、接種は各参加者、ご家庭で判断してください。

N. 危機管理に関する留意事項

N-1 包括海外旅行保険・危機管理サービスの加入について

海外においては、怪我や病気など様々なトラブルで、予想を大幅に上回る金銭負担が必要になる場合があります。また、有事の際の参加者安否確認や、最新の危機管理情報の提供、参加者の個別トラブルに、24時間対応する相談窓口システムを構築する為、本学の留学プログラムでは、包括契約による、指定の海外旅行保険への加入及び、指定の危機管理サービスへの加入が参加条件となっています。

N-2 立命館大学における、プログラムの催行判断について

本要項記載のプログラムにおいては、本邦外務省による海外安全情報(危険情報及び感染症危険情報)にもとづき、催行可否の判断を行います。派遣中止を判断した時点ですでに留学を開始している方については、本邦外務省や在外公館の勧告・命令及び立命館大学の指示に従い、安全を確保したうえで速やかに日本に帰国していただきます。判断の基準については「R.海外留学プログラムに関する承諾書」に記載しています。

上記、本校の判断で催行中止になった場合でも、それに伴い各関係機関で発生する取消料実費は、派遣候補者、参加者の負担となりますので、納得の上応募してください。

N-3 新型コロナウイルス禍による影響

2023年5月、WHOより新型コロナウイルス感染症に関する「国際的な公衆衛生上の緊急事態」を終了すると表明があり、日本でも、感染症法上の位置づけが正式に2類から5類へ移行され、世界の様々なところで規制が緩和され、With コロナ時代への対応が加速しています。

ただし、決して脅威が消え去ったわけではなく、日常的な感染対策の継続で健康に留意する事はもちろん、今後も、予測できない変異株発生や、新型コロナウイルス以外の感染症の発生などで世界情勢が急変し、プログラム中止の判断となる可能性があることをご理解ください。

コロナ禍以降約3年の間、世界的に国際交流が停止していた影響で、協定校をはじめ各国の受入れ体制もコロナ禍以前と必ずしも同じ状況とは言えません。参加者の多くは、過年度留学経験者の「参加報告書」を参考に応募されていると思いますが、さまざまな状況が変化していることを前提に、募集要項記載事項や、ガイダンスでの案内などで、変更になっている部分などを各自で確認、ご理解の上参加いただきますようお願いいたします。

0. 留学に必要な費用について

以下を参考に、父母等、費用負担者とよく話し合い、資金計画を立てて準備してください。

0-1. 学費について

留学が本学開講期間にまたがるプログラムであっても、立命館大学「学費」の納入が必要です。所定期日までに納入が確認できない場合、留学プログラムへの参加は認められません。

0-2. 留学プログラム参加費用について

本要項発行時に予測されるプログラム費用は、募集要項(プログラム編)「プログラム情報」に記載していますが、不確定要素がある為、最終は渡航前ガイダンスにて案内します。以下、プログラム費用の構成を確認してください。なお、一部のプログラムではシステム上、滞在費用や手続き費用などを参加費用(納入金額)に含める事が出来ず、参加者から直接支払い手続きをしていただく場合があります。

- ① 協定校が運営する、現地プログラム費用(登録料、授業料、フィールドトリップ費用・空港送迎費用など)
- ② 現地滞在費用(各プログラムの滞在形態に合わせた費用)
- ③ 旅行社手配の移動費用(航空手配費用・空港施設使用料・現地空港税・燃油サーチャージなど)
- ④ その他費用(査証取得費用など含む渡航手続き費用、危機管理に関する諸費用、その他プログラム運営費用)
- ⑤ 奨学金の受給(短期留学は参加費用から差し引いて納入、1 セメスターは渡航後に指定口座へ振込)

※ 協定校提示内容などにより、費用の構成が変わる場合があります。(プログラム費用に滞在費用が含まれるなど)

0-3. 留学プログラム参加費用の不確定要素について

参加費用は原則、実費算出によるもので、事務局での緩衝要素がありません。「本要項記載」、「合格者ガイダンス」「渡航前ガイダンス(最終)」でそれぞれその時点で最新の情報を参加者に伝えますが、それらは変動していきます。本要項では、予測可能な範囲で、費用を最低～最高額で提示していますが、予測の幅を超えて変動した場合、最終、記載の予測額を超える可能性もありますのでご了承下さい。以下は、費用変動の理由となる不確定要素です。

- 詳細を詰めていく上での、必要な内容修正による変動
- 参加人数による算出費用の変動
- 現地プログラム費用の現地通貨支払い時為替レートの変動
- 航空会社設定 燃油サーチャージの変動

0-4. 留学プログラム参加費用の納入について

参加費用は、以下の2回の期限に分けて、振込で納入いただきます。

項目	期日	対象プログラム	納入金額
一次納付金	2023年11月15日(水)	短期留学プログラム	100,000円
		1セメスター留学	350,000円
二次納付金	2024年1月19日(金)	各プログラム別	金額は「渡航前ガイダンス」で案内 ※費用総額から一次納付金等差引きして納入

※ 期日までに納入が確認できない場合、参加資格を失う場合があります。

0-5. 上記参加費用に含まれない、留学に必要な費用の代表的なもの

- 海外旅行保険代 ※合格者ガイダンスで詳細を案内
- 留学期間中の「滞在形態」に含まない食事代 ※プログラム編で「滞在形態」に含まれる食事内容を確認してください。
- 協定校への通学交通費
- 予防接種費用(対象プログラムのみ)
- ビザ取得などで、個人精算が必要な費用(対象プログラムのみ。代行手数料や団体精算可能な費用は含まれます。)
- 個人にかかる現地費用:(飲料・間食・日用品・生活雑貨・土産・集散場所までの国内交通費 など)

0-6. 海外留学プログラムの参加辞退(取消料)

やむを得ない理由により、プログラムへの参加を辞退する場合は、辞退期限までに立命館留学サポートデスクへ合格者本人より連絡してください。(最終、辞退理由を記入した、辞退届の提出により受理されます) 辞退期限超過後に、辞退を申し出た場合、または期限後に本学の判断で参加資格を取り消された場合は、理由の如何に関わらず、関係機関で発生する取消料を負担していただきます。

※ 特に、協定校手配関連は、取消料確認に時間がかかることや、早い段階から全額負担になる可能性があります。

※ ビザ取得など渡航手続きなどが進行している場合、関連する費用は原則返金されません。

- お問い合わせ先: 「留学サポートデスク」(BKC) TEL:077-561-4881 (平日 9:00~17:00)

P. 海外留学プログラムにかかる奨学金

海外留学プログラムへの応募を検討されている方へ立命館大学学内の奨学金制度についてご案内します。

P-1. 【学内奨学金制度】立命館大学 海外留学チャレンジ奨学金(原則、参加者全員受給対象、返済不要)

立命館大学が、「世界で通用する国際的な人材の育成」をめざし、海外留学プログラムの参加・修了を奨励する制度で、参加プログラム費用の額に応じて給付されます。

● 短期留学プログラム 参加者支給額一覧	
参加プログラム費用	奨学金支給額
50 万円以上	10 万円
40 万円以上	8 万円
30 万円以上	6 万円
20 万円以上	5 万円
10 万円以上	3 万円

● 1 セメスター留学プログラム 参加者 奨学金支給額
30 万円

P-2. 【学内奨学金制度】立命館大学 2023 年度緊急経済追加支援奨励金(短期留学全員対象、返済不要)

2023 年度をポストコロナ海外留学再活性化の年度と位置づけ、海外留学プログラムへの参加を応援する制度です。

● 奨励金: 1 回のプログラム参加につき一人当たり 30,000 円

※ P-2 の奨励金は 2023 年度限定実施される制度の為、2024 年度実施となる 1 セメスター留学は対象となりません。

【P-1・P-2 共通の留意事項】

- ※ 短期留学プログラムは P-1、P-2 共に申込手続きは不要。出発前ガイダンスにて、二次納付金を案内する際に、プログラム費用から一次納付金と奨学金合計を差し引いた金額を案内し、納入いただきます。
- ※ 1 セメスター留学プログラムは、事前に個人口座を指定して、現地渡航後に P-1 を指定口座に振り込みます。
- ※ P-1 海外留学チャレンジ奨学金は、受給に関する誓約書の提出が必要です。(合格者ガイダンスで案内)
- ※ 例えば、プログラム費用が 45 万円の短期留学プログラムに参加する場合、合計受給額は 3 万円+8 万円になり、参加者の費用負担は、(45 万円-11 万円 =) 34 万円という計算になります。
- ※ 自身の都合により参加を辞退した場合、また、「海外留学プログラムに関する承諾書」の内容に違反するなど参加資格取消しや、帰国措置を命じられた場合など奨学金は給付されません。その為、直前辞退や途中帰国となった際、事前に差引いた奨学金の返還を求められることとなり、当初予定していた参加負担額より高額の取消料が必要になる場合がありますのでご注意ください。

P-3. 【学内奨学金制度】立命館大学 海外留学サポート奨学金(応募要件あり、返済不要)

経済上の事由により、プログラムへの参加または参加継続が困難であることが見込まれる方へ参加費用の一部を支援する制度で、申込手続きが必要です。留意事項や募集については、立命館大学海外留学プログラム HP、及び manaba+R でお知らせしますので、こまめに確認してください。

1 セメスター以上の海外留学プログラムが対象です(短期海外留学プログラムは対象外です)。

P-4. 奨学金を併用して受給する場合の留意事項

奨学金の併用受給を検討される際、併給制限の可能性があるので、自身で確認が必要です。

- 「立命館大学大学院留学協定にもとづく留学プログラムに対する奨学金」の受給者は支給対象者から除きます。
- 海外留学にかかる学外奨学金(給付型)の支給総額がチャレンジ奨学金の支給総額を上回る場合は併給できません。
- 海外留学にかからないその他の奨学金については、チャレンジ奨学金との併給が可能です。ただし、受給中/受給予定の学外奨学金において、他奨学金との併給を認めない場合もあります。必ず自身で所管事務局に確認してください。
- ※ 併給制限により、チャレンジ奨学金を受給できない場合は、その旨速やかに留学サポートデスクへ申し出てください。

【立命館大学 留学プログラム HP 奨学金ページ URL】

<https://www.ritsumei.ac.jp/studyabroad/planning/scholarship/>

P-5. 【学外奨学金制度】の情報収集

前ページ記載の、学内奨学金制度以外でも、政府や地方自治体及び民間企業などによる奨学金制度があります。本学に情報提供があった奨学金制度については、manaba+R や海外留学プログラム HP、国際教育センターの掲示板等で案内しています。日ごろからこまめに確認し情報収集に努めてください。その他の学外奨学金は、日本学生支援機構のホームページ等で確認できます。

● 学内奨学金と学外奨学金との併給について

学内奨学金と学外奨学金との併給関係については、十分注意してください。奨学金によっては、他の奨学金との併給を認めていない場合があります。奨学金の申請に際しては、国際教育センター主管の奨学金や他の奨学金との支給総額の比較や併給関係等を確認し、計画してください。

● 他の奨学金を受給中、受給予定の場合について

学内・学外諸機関・団体等による奨学金(国際教育センターが取り扱う外国人留学生向けの奨学金や授業料減免を含む)を別途受給している、あるいは受給することが予定されている場合、留学プログラムへの参加に伴って受給資格を失うことや、留学プログラム参加期間中の支給が停止されることがあります。詳細は、各自が受給している奨学金の当該諸機関・団体等へ確認してください。

● 日本学生支援機構の奨学金を受給中の場合について

日本学生支援機構の奨学金に関わり、「第一種・第二種奨学金(貸与型)」もしくは「給付奨学金」を現在受給している場合、留学中に継続して奨学金を「受給」することが可能です(この場合、手続は不要です)。ただし、留学中の奨学金受給を「休止」する場合は、学生オフィスの窓口での手続きが必要です。

● 日本学生支援機構の「第二種奨学金(短期留学・貸与型)」について

現在、日本学生支援機構 第二種奨学金(貸与型)を受給していない方で、留学中(3ヶ月以上の留学に限る)の期間のみ奨学金を必要とされる方は「第二種奨学金(短期留学・貸与型)」の出願が可能な場合があります。希望の場合は、速やかに学生オフィスへ相談ください。

● 日本学生支援機構の「海外留学支援制度(協定派遣)」について(※)

独立行政法人 日本学生支援機構が、日本と諸外国の相互理解・友好親善を促進し、海外留学によるグローバル人材の育成を支援する目的で、留学プログラムを実施している日本の大学に対して支給する奨学金です。一定の家計基準を満たした場合は、上記奨学金に加えて「渡航支援金」が支給されます。本制度については、本制度に採択されたプログラムへ参加される方へ合格発表後のガイダンス等にて説明する予定です。

日本学生支援機構 海外留学支援制度(協定派遣)と併給できない奨学金について

日本学生支援機構 海外留学支援制度(協定派遣)(※)と、以下の奨学金との併給は認められません。その他、学内奨学金、学外奨学金の受給を予定または受給中の場合は、必ず併給関係等を確認してください。

<併給が認められない奨学金>

- ・日本学生支援機構が実施する国内の奨学金「給付奨学金」
- ・立命館大学海外留学チャレンジ奨学金

日本学生支援機構(JASSO)

■海外留学支援サイト 海外留学のための奨学金

<https://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

■海外留学支援サイト 海外留学奨学金検索サイト

https://ryugaku.jasso.go.jp/form/search.php?f=scholarship_abroad.html

Q. ホームステイに関する留意事項

● ホームステイとは

ホームステイは、海外の一般家庭に滞在することで現地各家庭の生活を家族の一員として体験し、文化や生活習慣の違いを通して「相互理解をもって国際交流を図る」ことにあり、受入家庭の生活様式やルールを受け入れる事が大前提となります。ホームステイの体験は、「生の海外生活体験」「生きた会話の学習」、「普段の日本での生活や、自分自身を見直す」など、多くの有意義なチャンスを提供してくれます。ただし、自身で明確な目的を持たないまま漠然とプログラムに参加したり、ホームステイに対して誤った認識を持っていたりすると、現地で後悔することになりかねません。検討しているプログラムの滞在形態が「ホームステイ」の場合、留意事項を確認、納得した上で応募・参加をしてください。

● ホストファミリーについて

ホストファミリーは、「参加者の部屋が確保され、安全に滞在できる」事や、「研修言語でコミュニケーションがとれる」「決められた条件の食事を提供できる」など手配する斡旋業者により定められた必要な一定基準で選定されます。ただし、各家庭の生活環境、立地、家族構成、ペットの有無、人種、職業、宗教は様々で、それらで差別する事や、他の参加者のホストファミリーと比較して「同じ費用なのに待遇が違う」といった考え方は、厳に慎まなければなりません。ホストファミリーは皆さんの家庭と同じ一般家庭であり、均一のサービスを提供するホテルではありません。しかし、自分たちの生活の中に喜んで皆さんを受け入れてくれるホストファミリーの気持ちを尊重し、双方ともに楽しく意義のある交流となるように、互いに尊重し合い、理解し合う努力をすることが大切です。

● ホストファミリーアプリケーションフォーム

- ・受入先ホストファミリーは作成する「アプリケーションフォーム」により選定が進められます。深刻なアレルギーや、事前に告知しておくべきことは明確に記載してください。ただし、好き嫌いや自身で対応できるアレルギーなどは、記入することで受入対象を狭めることになる為注意が必要です。好き嫌いで食べられないものなどは現地で直接ホストに伝えるといいでしょ。
- ・アプリケーションフォームの様式は様々ですが、受け取る側のことを考えて、ポジティブな印象を伝えましょう。
- ・受入ホストファミリーの情報は、出発の約1週間前から直前になるケースもあります。コースによっては個人情報取り扱いの規定により現地到着後にホストファミリーの情報が分かる場合があります。また、一旦決まった受入先が、受入先の諸事情(急用・病気など)により直前に変更される場合もあります。
- ・他国、及び日本からの他の留学生と同じホームステイ先になることもあります。ホストファミリー同様に他の留学生の生活空間でもある事を理解し、尊重し合える関係を築き上げることが大切です。

● ホームステイに対する要望

「ゲスト(お客様)」として滞在するのではなく、滞在中は各家庭のルールを尊重して行動することが必要です。ゲストの様なおもてなしや、週末はどこかへ連れて行ってほしいといった、過度な期待や特別扱いを要求してはいけません。それらを理解した上で、現地で不都合がある場合は、まずホストファミリーと話し合みましょう。わがままは論外ですが、海外では、自分の意思を明確に示すことも必要です。「食事の量が少ない(多い)」また、「食事が合わず食べられない」、「もっとホストファミリーとコミュニケーションの時間を取りたい」など、一方的な要求ではなく、自らの積極的な努力を含め、前向きな提案をしてみる事が必要です。日本的な奥ゆかしさで我慢をして、つらい留学体験になるのは非常に残念です。話し合いて解決されることがほとんどですが、それでも解決しない場合は、ホームステイに関して決められた相談窓口ご連絡してください。限られた滞在期間ですから、小さな違和感でも、早めに解決していく事が大切です。

● その他の留意事項

- ・ホームステイでのトラブルの多くはミスコミュニケーションが原因です。理解していないのによく加減な返事をする事で、ホストファミリー側は、ハウスルールを伝えて理解していると思っているが、全く守られない事に不満を覚えたり、ファミリーになかなか言葉が通じず、億劫に感じ、寡黙になることで、ホストファミリーが不安を感じたりします。意思疎通の努力を怠らず、重要だと思われることは、理解するまでホストファミリーに何度も確認することが必要です。
- ・おとなしく、きれい好きな日本人は一般的に海外のホストファミリーから人気がありますが、日本人に対して一番多いクレームは「水の使い方」だそうです。大量の湯水を消費する日本人の生活スタイルは決して海外では普通ではありません。
- ・一般的に、安全面、衛生面など、各家庭の生活環境は日本と同じではないことを理解してください。
- ・自身の貴重品や大切なものは、相互の誤解や嫌な思いをしないように、自身でしっかりと管理することが必要です。
- ・ホストファミリー(異性)との「ハグ」などコミュニケーション方法の違いもトラブルにつながる場合があります。もし不快に感じる場合は、我慢せずに早めに「慣れていないからやめてほしい」という意思を伝えてください。また逆に、異性への接し方には、決してホストファミリーに不安を感じさせることがないように、十分注意してください。

● 最後に

ホームステイは、不確定な要素が多いため、あらかじめ上記をよく理解してください。異国の家庭に入って生活できる機会は、人生の中でもそう度々はありません。皆さんの考え方や取り組み方次第で、非常に貴重で有意義な体験になることは間違いありません。是非、前向きに検討してみてください。

- お問い合わせ先: 「留学サポートデスク」(BKC) TEL:077-561-4881 (平日 9:00~17:00)

R. 海外留学プログラムに関する承諾書 1/3 枚 (合格後、父母等も含めて承諾・署名のうえ提出が必要)

立命館大学国際教育センター主管「海外留学プログラム」に関する承諾書

立命館大学長 様

私は、立命館大学国際教育センター主管「海外留学プログラム」(現地への渡航を伴わないオンラインのものを含む。以下「プログラム」という。)に参加するにあたり、立命館大学の代表学生として海外に派遣されることを自覚したうえで、プログラムの募集要項に記載の事項および次の各事項を承諾し、誠実に履行します。なお、承諾内容に反した場合、立命館大学の代表学生として相応しくない行動を取った場合は、プログラムへの参加取消または帰国措置を命じられても、異議を申し立てません。

1. プログラム参加手続の履行

- (1) プログラム申込金および実習費ならびにその他諸経費は、指定の期日までに納入すること。指定の期日までにプログラム申込金、実習費等の納入がない場合、プログラム参加を辞退するものとみなす場合があること。
- (2) プログラムの合格後は、立命館大学が正当と認める理由以外ではプログラム参加の辞退はできないことを十分に理解した上で申込手続を行うこと。
- (3) 立命館大学が辞退期限として指定している期日以降にプログラム参加を辞退する場合、立命館大学によりプログラム参加を取り消された場合、またはプログラムの開始前後にかかわらず立命館大学の責に帰さない事由によりやむを得ずプログラムを中止する場合には、立命館大学に納付したプログラム申込金、当該プログラムへの参加にあたり負担した費用、辞退・参加取消・中止により発生する費用、当該プログラムに関わる派遣先大学・業者が定めるキャンセル料・追加料金について、学生本人または父母等が負担すること。また、当該支払に際して外貨から日本円への交換手数料が発生する場合は学生本人または父母等が負担すること。
- (4) 立命館大学が指定する海外旅行保険および危機管理支援サービス(以下「海外旅行保険等」と総称する。)に、留学に係る出発から帰国までの期間加入すること。また、派遣先大学から別途で海外旅行保険等に加入することを指定された場合は、立命館大学および派遣先大学が指定するそれぞれの海外旅行保険等に加入すること。
- (5) 立命館大学が指定する往復の航空便、指定旅行代理店、指定査証代行取得業者、指定宿舎がある場合は、それらを利用することとし、指定の期日までに手続を行うこと。指定の期日までにビザ、パスポート等の取得ができない場合、プログラム参加を辞退すること。
- (6) 立命館大学が指定するガイダンスに出席し、指定の期日までに必要な書類を提出すること。
- (7) 立命館大学の定期健康診断を受診すること。何らかの事情で受診できていなかった場合は、指定の期日までに、別途健康診断を受診すること。
- (8) 医師がプログラムへの参加が困難であると判断した場合、その見解にもとづき、立命館大学がプログラム参加を認めないことがあること。
- (9) 派遣先大学または派遣先大学が所在する国・地域・自治体が指定する予防接種を、指定の期日までに受けること。
- (10) 既往症、現在疾患、服薬の状況等について、指定の期日までに立命館大学に申告すること。また、申告内容に変更があった場合は、速やかに再度申告すること。

2. プログラムに関する諸条件

- (1) プログラム派遣候補者として選ばれることは、派遣先大学での受入を保証するものではないこと。また、派遣先大学の事情によっては、受入が許可されない場合もあること。
- (2) 本邦外務省による海外安全情報にもとづき、派遣先国・地域または都市に対して危険情報および感染症危険情報レベル2以上が発令された場合、立命館大学は派遣者の生命・身体の安全を最優先し、原則、派遣の中止を判断する。派遣中止が判断された時点ですでに留学を開始している者は、本邦外務省や在外公館の勧告・命令および立命館大学の指示に従い、安全を確保したうえで速やかに日本に帰国すること。
また、危険情報または感染症危険情報レベル1以上が発令されている(例外としてプログラムが実施または継続する場合も含む。)、もしくは発令がされていない場合でも、派遣者の安全確保または学習の継続が保証できないと立命館大学が判断した場合は、派遣の中止および早期の帰国を命ずることがある。

R-2. 海外留学プログラムに関する承諾書 2/3 (合格後、父母等も含めて承諾・署名のうえ提出が必要)

立命館大学国際教育センター主管「海外留学プログラム」に関する承諾書

- (3) プログラム参加中、緊急に医療手当または手術の必要が生じた場合、学生本人および父母等の個別同意がなくとも、立命館大学または派遣先大学の担当者によって処置されることがあること。
- (4) 医師による診断にもとづき、プログラムの継続が困難であると立命館大学が判断した場合、立命館大学の帰国措置の指示に速やかに従うこと。
- (5) プログラムが定める教育上の目的が達成できず、留学プログラム参加の継続が困難であると立命館大学が判断した場合、立命館大学の帰国措置の指示に速やかに従うこと。
- (6) 帰国措置を受けたとき、または自己都合によりプログラムを中止したとき、これに伴って発生する帰国費用等は学生本人または父母等が負担すること。
- (7) プログラム参加にあたり立命館大学から奨学金の給付を受けていた場合、当該奨学金の規程にもとづき、プログラム参加を中止する等の理由により、奨学金の全部または一部の返還を求められることがあること。
- (8) プログラム参加に伴う渡航期間が、立命館大学における講義・補講、定期試験、追試験等と重なった場合、特別な配慮は行われなないこと。
- (9) ホームステイでは、1家庭に複数名の学生が滞在する可能性があること。寮・ホテルでは、1部屋に複数名の学生が滞在することが基本となること。
- (10) プログラム参加にあたり、滞在先、航空券等の諸手続、手配等を自身で行わなければならないプログラムについては、事前に諸手続、手配等について十分確認し、必ず自身の責任において遅滞なく行うこと。

3. 個人情報取扱いに関する同意

- (1) 立命館大学に届け出た個人情報について、立命館大学が、派遣先大学、事務業務受託会社、旅行会社、査証代行取得会社、保険会社、保険代理店、危機管理支援サービスを提供する会社、海外用携帯電話レンタルサービスを提供する会社、航空会社、関係省庁および在外公館に提供し、プログラム運営や緊急時の対応のために利用することに同意すること。
- (2) 立命館大学が、プログラム運営のために、派遣先大学等から成績情報、生活情報等の個人情報の提供を受けることや派遣先大学に成績情報・生活情報等の個人情報を提供することに同意すること。

4. プログラム参加の責任

- (1) プログラム参加中に発生したトラブルについては、基本的に学生本人の責任において対処すること。
- (2) 学生本人が被った人的・物的損害または自己が派遣先大学もしくは第三者に与えた人的・物的損害が、次の①～⑧のいずれかにあたる場合、学生本人または父母等の責任において対処し、立命館大学に損害賠償その他のいかなる責任も追及しないこと。
 - ① 自然災害、海難、火災、政府や公共団体の指令、戦争、暴動、ストライキ、盗難、隔離、テロリズム、ハイジャック、航空機事故、交通事故、犯罪、流行病、税関規則、航空機等の突然のスケジュール変更、その他の不可抗力により生じた損害
 - ② 立命館大学が管理しえない状況で起こった事件または事故により生じた損害
 - ③ 法令または公序良俗に反する学生本人の行為により生じた損害
 - ④ 学生本人の故意または過失により生じた損害
 - ⑤ プログラムの趣旨・目的から逸脱した学生本人の行為により生じた損害
 - ⑥ 学生本人の個人的問題から生じた損害
 - ⑦ 学生本人が行った滞在先、航空券等の諸手続、手配等により生じた損害
 - ⑧ 2. (2) の派遣の中止により生じた損害

5. 規律事項

- (1) プログラムの目的と趣旨を理解し、学習および研究に専念すること。
- (2) プログラム期間中は、日本の法令および立命館大学の諸規則ならびに派遣先大学が所在する国・地域の法令および派遣先大学の諸規則を遵守すること。

R-3. 海外留学プログラムに関する承諾書 3/3 (合格後、父母等も含めて承諾・署名のうえ提出が必要)

立命館大学国際教育センター主管「海外留学プログラム」に関する承諾書

- (3) 立命館大学および派遣先大学の教職員の指示に従うこと。
- (4) 麻薬、向精神薬等日本の法律または派遣先大学が所在する国・地域・自治体の法律により違法とされる薬物、危険ドラッグ、銃等の所持、使用、購入および日本への持ち込みはしないこと。
- (5) プログラム参加中に、自動車、オートバイ、船舶、航空機等の運転、操縦および購入を行わないこと。
- (6) バンジージャンプ、スカイダイビング、スキューバダイビング等危険な行為を行わないこと。
- (7) 健康管理は自らの責任で行い、常備薬や主治医の紹介状等を現地に持参すること。
- (8) プログラム参加中に、旅行または外泊する場合は、指定の期日までに所定の届出を立命館大学に行うこと。立命館大学または派遣先大学から計画の変更や中止の指示があった場合は、それに従うこと。
- (9) プログラム参加中は、立命館大学が指定する報告を遅滞なく行うこと。
- (10) プログラム終了後はすみやかに帰国すること。立命館大学の許可なく、個人的な理由により滞在期間を延長しないこと。
- (11) 渡航期間が3か月未満の短期プログラム参加者については、立命館大学の許可なく、日本または母国への一時帰国・再入国を行わないこと。
- (12) 派遣先大学の寮規程もしくは入居した寮の規則またはホームステイ先の規則に従い、生活すること。
- (13) 派遣先大学の授業の録音や録画、写真撮影などは、授業担当者の許可を得ること。
- (14) 派遣先国および地域で危機が発生し立命館大学が帰国を命じた場合は、命令および指示に従い安全を確保したうえで速やかに帰国すること。

上記のすべての承諾事項を確認の上、遵守します。

学生本人記入欄

署名日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

参加プログラム名： _____

派遣先大学・機関： _____

学部・研究科： _____ 回生： _____

学生証番号： _____

氏名（自署）： _____

父母等記入欄

署名日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

父母等 氏名（自署）： _____ 学生本人
（父母等直筆のこと。） との続柄： _____

緊急時父母等連絡先：（郵便番号）〒 _____

（住所） _____

（電話番号） _____

以上

S. その他の留学プログラムについて

本募集要項の掲載以外にも国際教育センターにより以下のプログラムを実施しています。
各自のレベルや目的に合わせて留学プログラムを選択・検討してください。

(詳細は「立命館大学海外留学プログラム」HP <https://www.ritsumei.ac.jp/studyabroad/> 参照)

◆ 【次年度 夏期・春期】 長期留学プログラム

募集時期	プログラム名	出発時期・渡航期間	プログラム詳細問合せ先
2023 年 10 月中旬～下旬	●立命館・アルバータ大学	次年度夏期出発より 1 学年の期間	衣笠国際教育センター (衣笠 C 明学館 1 階) TEL:075-465-8229
	●立命館・UBC-AIP		
	●交換留学 夏出発	次年度夏期出発より 1 学年 (一部 1 セメスター可)	
	●学部共同学位プログラム (DUDP)	次年度夏期出発より 2 学年～	
	●ASEAN で学ぶ国際 PBL	次年度 8 月～1 月の 間に出発 4～5 か月間	
2024 年 5 月中旬～下旬	●交換留学 春出発	次年度春期出発より 1 学年 (一部 1 セメスター可)	衣笠国際教育センター (衣笠 C 明学館 1 階) TEL:075-465-8229

◆ 【次年度 夏期出発】 短期・1 セメスタープログラム

募集時期	プログラム	出発時期・渡航期間	問合せ先
2024 年 4 月下旬～5 月上旬	●短期プログラム各種	次年度 8 月～9 月出発より 1 週間～6 週間	留学サポートデスク (BKC セントラルアーク 2 階) TEL: 077-561-4881 ※本要項に同じ
	●1 セメスタープログラム	次年度 8 月～9 月出発より 4～6 か月間	

※ その他、各学部で計画されている留学プログラムについては、学部事務室にてご確認ください。